

- ▼Interactive tech and /or ideas
- Sound reactive
- Toy x Interactive
- Big data x Visual and / or Sound
- interactive media Art
- etc.

ICC Digital Ideas Workshop 1day Seminar

▼GUEST :ゲストスピーカー
ジョエル・パウマン
カッセル芸術大学学部長
Tomato 共同創設者

2月26日(月)
13:00~14:30

主催：インタークロス・クリエイティブ・センター（一財）さっぽろ産業振興財団

協力：NPO法人 UNISON 札幌市 IT振興普及推進協議会

ICC デジタル・アイディア・ワークショップ【1day セミナー】**無料**

～デジタルライフに人はどう対処して行くのか？未来を占うAIやビックデータとの付き合い方のヒントが見える～

日時：2018年2月26日

13:00~14:30

場所：ICC Cross x Garden

札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1

世界的なクリエイティブ集団tomatoの共同創設者であり、ドイツのカッセル芸術大学学部長を務めるジョエル・パウマン氏を迎え、ワークショップの成果発表と共に、AIやビックデータ、仮想現実(VR)等にまつわるデジタル社会と人のこれからの関係について興味深いセミナーを行います。クリエイターに限らず、IT、広告、企画、デザイン、教育、地域おこし、観光、映像、などに携わるような方も歓迎。

◎セミナー参加申し込み：定員50名

▼www.icc-jp.com

問い合わせ先:

インタークロス・クリエイティブ・センター:
久保、岡田 011-817-8911

【講師からのコメント】

人間は道具を使い始めて以来、それにより人間になり始め、物体と物体のもつ機能に密接な関係を築いてきました。長年にわたりこの関係には変化がなく、非常にシンプルなものでしたが、同時に非常に沈黙したものもありました。

そして私たち人間はコンピュータを発明しました。この道具と機能は私たちに愛情を返してくれます。私たちに反応し、私たちに認められていると感じさせてくれます。私たちは彼らと交流します。彼らは私たちの行動に反応し、私たちが本当にここにいると伝えてくれるので、私たちは嬉しくなるのです。

私たちとコンピュータとの親密な関係はまだ始まったばかりであり、ちょうど恋愛の初期段階に入ったところです。リアクティブ・トイ（反応す

るおもちゃ）やインタラクティブ・ゲームは、私たちの長い旅の出発点です。この関係は私たちをどこへ導くのでしょうか？このワークショップ(2/22~25:別途募集)では、サウンド・リアクティビティ（音への反応性）を利用してアイデアを開発することによって、コンピュータと人間の反応性を探ります。サウンド・リアクティビティはプログラムが簡単なので、人間とコンピュータのやりとりの仕組みや設定方法をすばやく知ることができ、創造的なアイデアを与えてくれるでしょう。

ICC Digital Ideas Workshop 2018
Creative Reader :

ジョエル・パウマン

Joel Baumann
カッセル芸術大学学部長
Tomato 共同創設



講師：Creative Reader プロフィール：

ジョエル・バウマン Joel Baumann

カッセル芸術大学学部長

Tomato 共同創設者

社会やコミュニケーションの作法に影響を与える、インタラクティブなニューメディアを創造するクリエイティブ・リーダー。これまでソニー、三菱重工、AOL、シャープ、ノキア、レッドブルなどの広告を手がけ、テレビ朝日のインタラクティブなロゴを手がけた事でも有名。1999年にロンドンで Tomato の設立に参加。2003年には日本最大の屋内ライブイベントであるエレクトラグライドのために全長9時間のビジュアル作品を制作した。2006年にはオランダのフローニンゲンで、前衛作曲家コーネリアス・カーデューの作品演奏会のためにダイナミックなビジュアルインスタレーションを発表。カッセル芸術大学でニューメディアの専門家として教鞭をとり、2003年より学部長を務めている。大手広告会社などでのワークショップも行っている。

Joel co-founded the award-winning new-media collective tomato interactive (London) in 1999 after briefly joining the award-winning new-media collective Antirom (London) in its expiring stages.

Since 2003 Joel is Professor for New Media at the Kunsthochschule Kassel (school of art and design Kassel) in Germany.

In his work he concentrates on the interactive moment and its strategic use. He is interested in the influence New Media has on society and communication.

His commercial work includes projects for Sony, Mitsubishi Motors, AOL, Sharp, Nokia und Redbull. In 2003 tomato interactive produced 9 hours of live visuals for Electraglide, the largest indoor live music event in Japan. Over 20000 people attended. In 2006 tomato created a dynamic visual installation in the Media Centraal, Groningen, the netherlands for a rare performance of the work of the english avant garde composer Cornelius Cardew.

His work has been shown at the Design Museum in London, the Jacobson Howard Gallery in New York, the Kasseler Kunstverein in Kassel, the European Media Arts Festival in Osnabrück and the Pavlov MediaLab in Groningen.

<http://joelbaumann.com>

